

# 第21回 豊川市地域公共交通会議 資料

## <目次>

1. 【報告事項（1）】平成25年度決算書報告及び平成26年度予算
2. 【報告事項（2）】平成26年4月までの豊川市コミュニティバスの運行実績
3. 【報告事項（3）】平成26年度の協議会スケジュール
4. 【協議事項（1）】生活交通ネットワーク計画
5. 【協議事項（2）】利用促進に関する取組み

平成26年5月22日

1. 【報告事項(1)】平成25年度決算書報告及び平成26年度予算

1-1. 平成25年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出決算書及び決算監査報告書

平成25年度の決算書を以下に示します。

平成25年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出決算書

1. 歳入 単位：円

科 目	① 予算額(流用後)	② 収入済額	備 考
1	998,000	998,000	
負担金及び補助金			
1負担金	998,000	998,000	豊川市から
2国庫補助金	0	0	
2	168,910	168,910	
繰越金			
1繰越金	168,910	168,910	平成24年度交通会議剰余金
3	1,000	2,684	
雑入			
1広告料収入	0	0	
2雑入	1,000	2,684	預金利子
合 計	1,167,910	1,169,594	

2. 歳出 単位：円

科 目	① 予算額(流用後)	② 支出済額	備 考
1事業費	100,171	86,700	
1委託料	35,700	35,700	プリンター保守
2負担金	51,000	51,000	夏休み小学生50円バス実行委員会負担金
3補助金	13,471	0	
2需用費	889,829	889,829	
1消耗品費	434,234	434,234	利用促進イベント・事務用消耗品等
2印刷製本費	455,595	455,595	スタンプラリー用ポスターポケット時刻表
3役務費	8,000	4,095	
1手数料	8,000	4,095	振込手数料
4雑費	168,910	168,910	
1繰出金	168,910	168,910	市へ返戻(平成24年度交通会議剰余金)
5	1,000	0	
予備費			
1予備費	1,000	0	
合 計	1,167,910	1,149,534	

平成25年度豊川市地域公共交通会議予算残額 20,060円(収入済額 1,169,594円-支出済額 1,149,534円)につきましては、平成26年度豊川市地域公共交通会議予算に繰越し、豊川市に返戻します。

平成25年度豊川市地域公共交通会議  
決算監査報告書

平成25年度豊川市地域公共交通会議の歳入歳出決算について、諸帳簿及び証拠書類等を監査しました結果、いずれも正確かつ適正であることを認めます。

平成26年 3月31日

豊川市地域公共交通会議

監 査 委 員

渥美昌之 

## 1-2. 平成26年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出補正予算書（案）

平成26年度の補正予算書を以下に示します。

### 平成26年度豊川市地域公共交通会議歳入歳出補正予算書（案）

1. 歳入 単位：円

科 目	① 本年度 当初予算額	②補正額	③ 補正後 予算額	備 考
1	962,000	0	962,000	
負担金及び 補助金				
1負担金	962,000	0	962,000	豊川市から
2	18,000	2,060	20,060	
繰越金				
1繰越金	18,000	2,060	20,060	平成25年度交通会議剰余金
3	1,000	0	1,000	
雑入				
1雑入	1,000	0	1,000	預金利子等
合 計	981,000	2,060	983,060	

2. 歳出 単位：円

科 目	① 本年度 当初予算額	②補正額	③ 補正後 予算額	備 考
1事業費	69,000	0	69,000	
1負担金	69,000	0	69,000	夏休み小学生50円バス実行 委員会負担金
2補助金	0	0	0	
2需用費	848,000	0	848,000	
1消耗品費	464,000	0	464,000	①利用促進イベント等 289千円 ②事務用消耗品費 175千円
2印刷製本費	384,000	0	384,000	利用促進ポスター等
3役務費	8,000	0	8,000	
1手数料	8,000	0	8,000	振込手数料
4委託費	37,000	0	37,000	
1委託料	37,000	0	37,000	プリンター保守
5雑費	18,000	2,060	20,060	
1繰出金	18,000	2,060	20,060	市へ返戻 (平成25年度交通会議剰余金)
6	1,000	0	1,000	
予備費				
1予備費	1,000		1,000	
合 計	981,000	2,060	983,060	

※各科目間の予算は、相互に流用できるものとする。

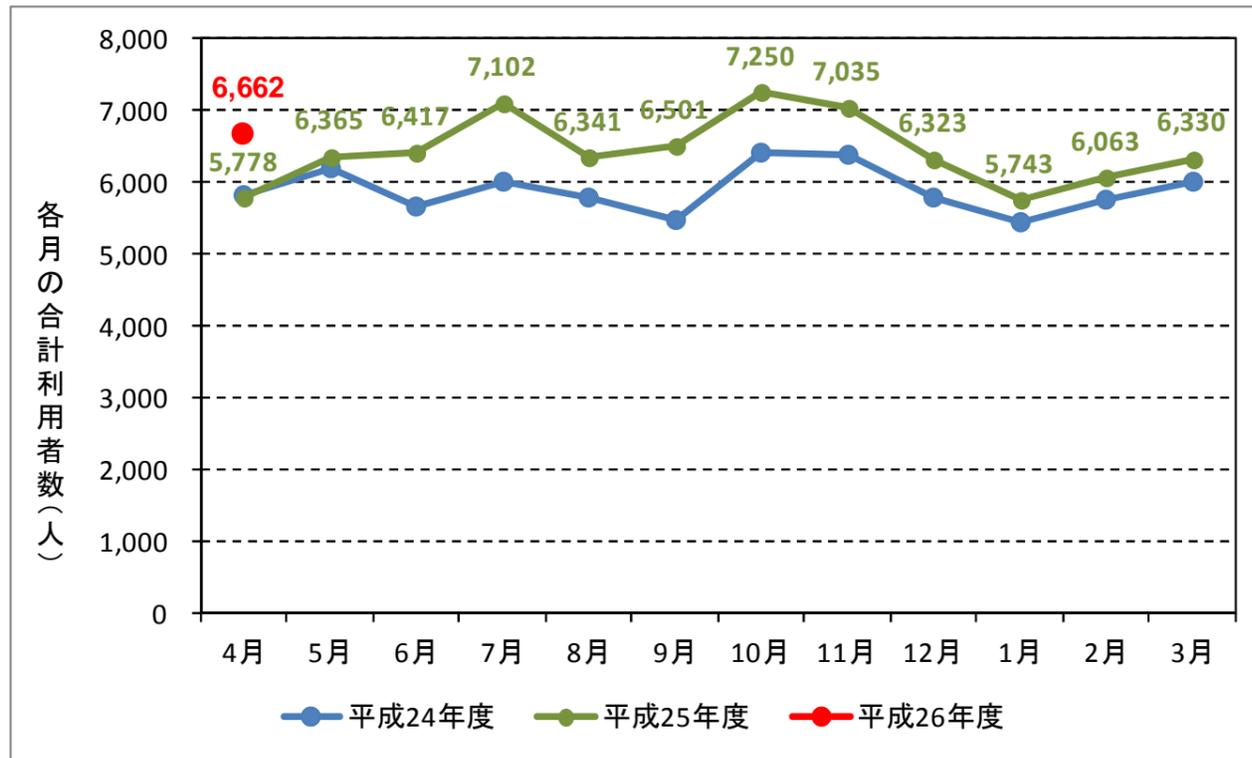
## 2. 【報告事項(2)】平成26年4月までの豊川市コミュニティバスの運行実績

### 2-1. 豊川市コミュニティバス利用者数の推移

平成24年度以降のバス利用者数の推移を以下に示します。

例年と同様の傾向で推移しており、市民病院移転に伴う路線見直し以後の平成25年5月以降では、すべての月で前年の利用者数を上回りました。また、平成26年4月についても、見直し前の前年同月の利用者数を上回りました。

現在、運行開始から平成26年4月までの30ヶ月間の総利用者数は、約18.2万人となっています。



豊川市コミュニティバスの運行実績

### 2-2. 路線別の月別利用者数の推移

平成24年度以降、平成26年4月までの路線別の利用者数推移を以下に示します。

平成25年度の利用者数合計は、77,248人となり、平成24年度に比べて、約9.2%増加しました。

平成24年度路線別の利用者数推移

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成24年度合計
豊川国府線	762	905	823	881	697	746	806	797	606	724	789	600	9,136
千両三上線	701	645	732	701	745	730	780	792	842	652	665	684	8,669
ゆうあいの里小坂井線	692	752	711	758	805	776	747	779	790	648	708	751	8,917
一宮線	724	862	650	725	711	660	814	756	768	736	791	891	9,088
音羽線	529	537	574	599	769	612	598	633	529	469	413	526	6,788
御津線	360	378	349	338	420	308	403	416	429	333	474	459	4,667
音羽地区地域路線	1011	861	810	903	813	731	794	788	712	560	613	750	9,346
御津地区地域路線	357	380	404	339	207	354	389	424	306	324	341	329	4,154
一宮地区地域路線	674	882	622	754	632	573	722	724	556	785	769	725	8,418
御油地区地域路線							368	284	243	209	188	277	1,569
合計	5,810	6,202	5,675	5,998	5,799	5,490	6,421	6,393	5,781	5,440	5,751	5,992	70,752

平成25年度路線別の利用者数推移

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成25年度合計
豊川国府線	545	787	797	933	742	854	818	816	660	570	643	642	8,807
千両三上線	668	689	745	874	814	856	956	990	967	819	914	959	10,251
ゆうあいの里小坂井線	622	685	736	771	800	711	738	700	759	642	673	736	8,573
一宮線	884	813	857	856	849	850	935	912	749	795	782	824	10,106
音羽線	503	551	543	766	690	599	732	638	658	543	603	677	7,503
御津線	432	615	660	629	599	699	735	670	657	510	562	558	7,326
音羽地区地域路線	850	749	775	809	743	692	816	729	690	599	646	692	8,790
御津地区地域路線	360	466	417	380	169	389	433	423	355	406	394	368	4,560
一宮地区地域路線	709	791	626	777	662	539	816	801	521	611	574	558	7,985
御油地区地域路線	205	219	261	307	273	312	271	356	307	248	272	316	3,347
合計	5,778	6,365	6,417	7,102	6,341	6,501	7,250	7,035	6,323	5,743	6,063	6,330	77,248

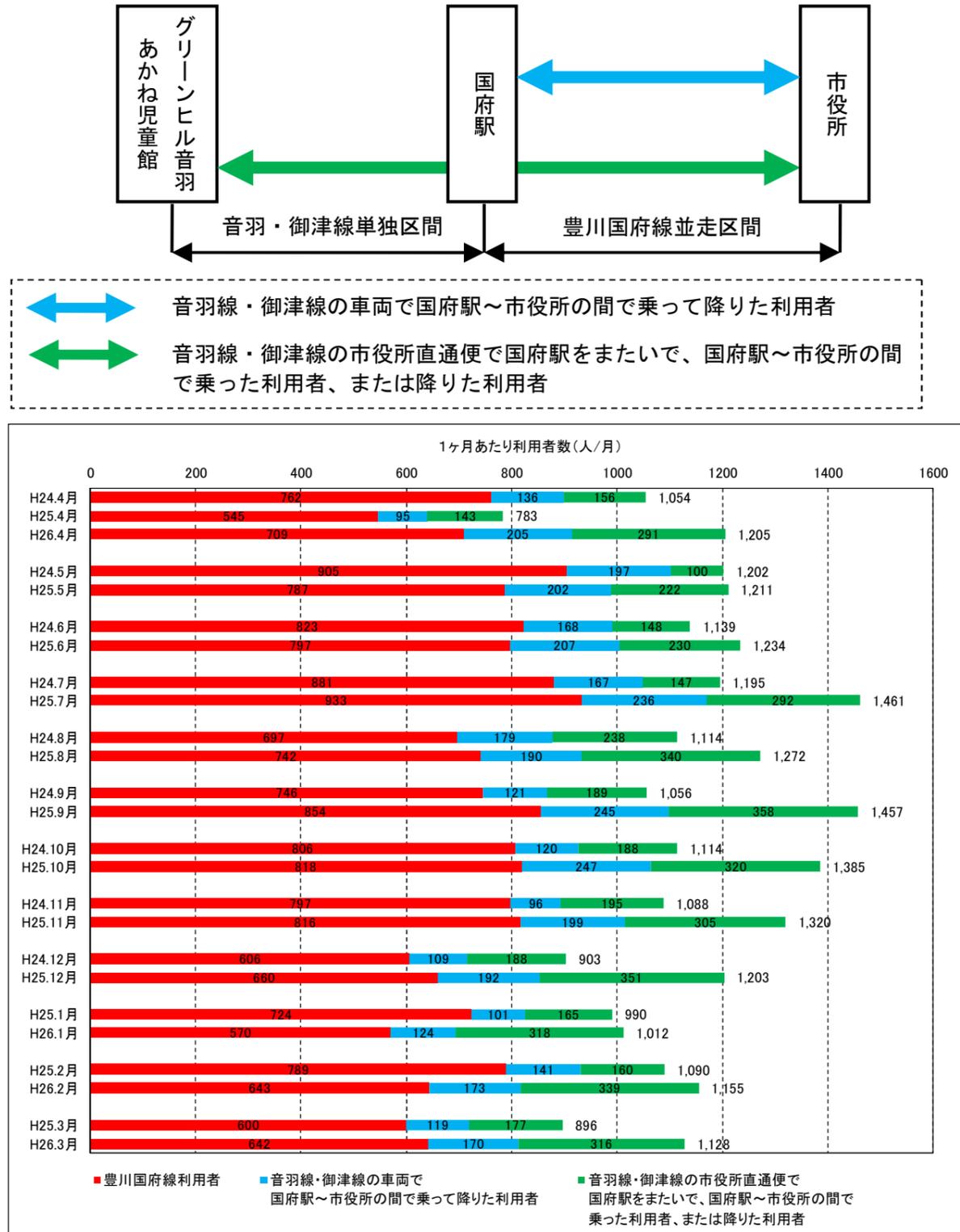
平成26年度路線別の利用者数推移

路線名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成26年度合計
豊川国府線	709												709
千両三上線	871												871
ゆうあいの里小坂井線	755												755
一宮線	837												837
音羽線	701												701
御津線	602												602
音羽地区地域路線	824												824
御津地区地域路線	366												366
一宮地区地域路線	709												709
御油地区地域路線	288												288
合計	6,662	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,662

**【参考：豊川国府線・音羽線・御津線における国府駅～市役所間の利用者構成】**

国府駅～市役所の間は、豊川国府線、音羽線、御津線の3路線が同じルートを運行していますので、音羽線・御津線の車両で、並走する国府駅～市役所の間で乗った利用者または降りた利用者を、下図のように分けて整理しました。

市民病院移転に伴う路線見直しを行った平成25年5月以降では、すべての月で前年同月より利用者数が増えており、豊川国府線の利用者数に対して年間平均で約1.7倍のニーズがあります。



豊川国府線・音羽線・御津線における国府駅～市役所間の利用者構成

**2-3. 平成25年度の収支率（H25.4～H26.3の12ヶ月間）の実績**

- 基幹路線全体の収支率は11.15%となっており、短期目標の13%より1.85%低くなっています。路線別では、千両三上線と一宮線では目標より高くなっていますが、その他の路線では目標より低くなっています。
- 地域路線全体の収支率は9.22%となっており、地域路線の目標の15%より5.78%低くなっています。路線別では、つつじバスが目標に近い収支率となっていますが、すべての路線で目標より低くなっています。
- 豊川市コミュニティバス全体では10.53%となっており、短期目標の13%より2.47%低くなっています。

平成25年度の路線別収支率

路線名	通常経費 (A)	運賃収入 (B)	負担金額 (A-B)	車体広告掲載収入 (C)	収支率 [(B+C)/(A)]
	円/年	円/年	円/年	円/年	%
豊川国府線	18,970,350	1,411,900	17,558,450	288,000	8.96%
千両三上線	12,332,813	1,761,112	10,571,701	13,200	14.39%
ゆうあいの里小坂井線	12,837,104	1,450,480	11,386,624	110,400	12.16%
一宮線	9,182,250	1,209,445	7,972,805	0	13.17%
音羽線	11,840,316	1,157,480	10,682,836	110,400	10.71%
御津線	13,603,248	1,201,985	12,401,263	68,400	9.34%
基幹路線計	78,766,081	8,192,402	70,573,679	590,400	11.15%
音羽地区地域路線	11,900,759	1,496,427	10,404,332	110,400	13.50%
御津地区地域路線	8,976,599	405,066	8,571,533	93,700	5.56%
一宮地区地域路線	7,343,258	687,948	6,655,310	36,000	9.86%
御油地区地域路線	9,129,698	558,857	8,570,841	55,200	6.73%
地域路線計	37,350,314	3,148,298	34,202,016	295,300	9.22%
合計	116,116,395	11,340,700	104,775,695	885,700	10.53%

※負担金額に、地域公共交通確保維持改善事業の国からの補助額は含めていません。

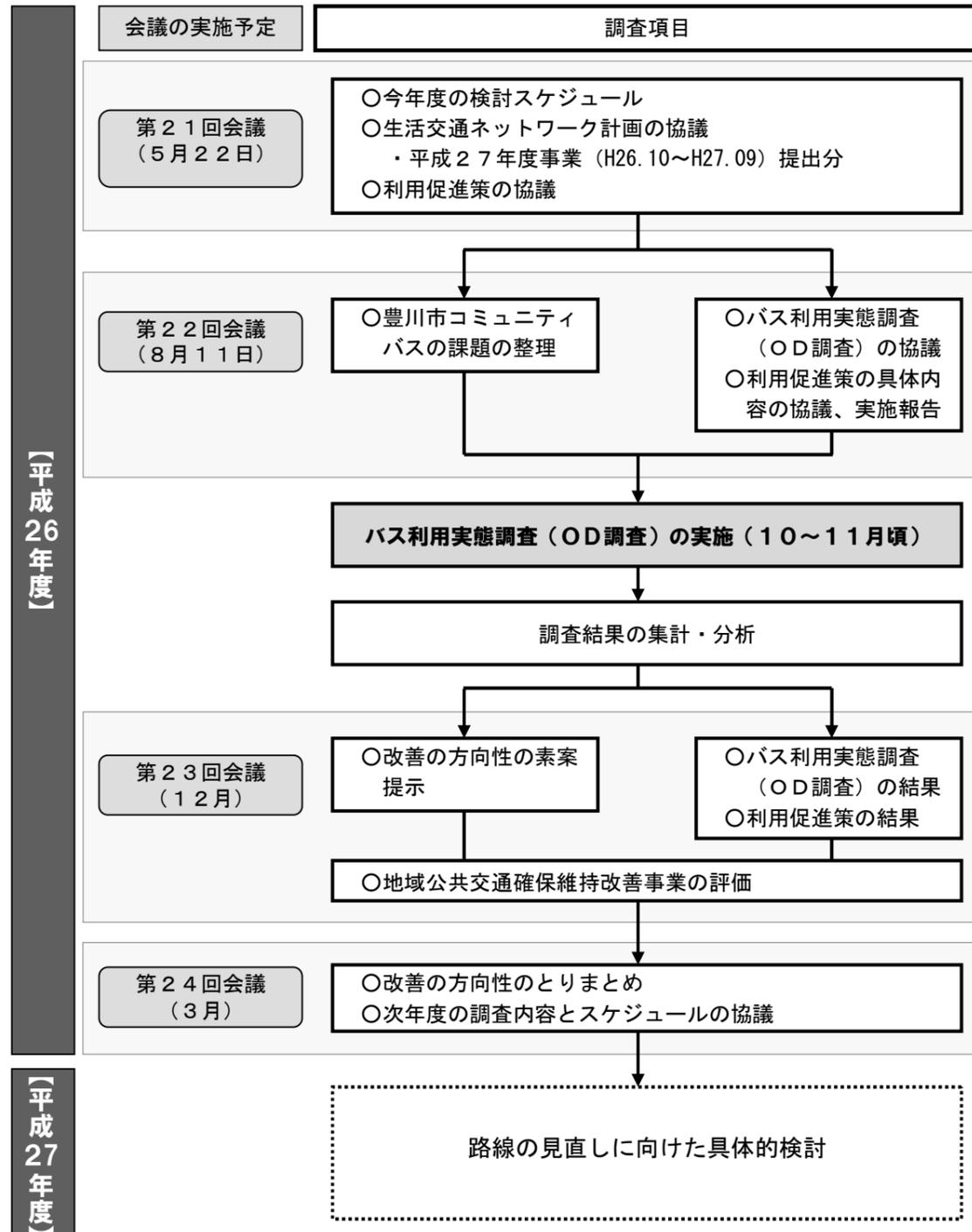
### 3. 【報告事項（3）】平成26年度の協議会スケジュール

#### 3-1. 協議会スケジュール

平成26年度の地域公共交通会議は、4回の開催を予定しています。開催時期および会議の主な内容は以下のとおりです。

豊川市地域公共交通総合連携計画は本年度から中長期計画期間に入るため、連携計画の目標の達成に向けて、各種の利用促進活動やイベントと連携したOD調査などの取組みを進めます。

また、昨年度実施した路線の評価結果を踏まえて、引き続き課題や改善の方向性の整理を進め、次年度以降の具体的な路線見直しの検討に備えます。



#### 3-2. 調査内容

平成26年度に実施する主な調査内容は、以下のとおりです。

##### (1) 利用促進イベントや利用環境改善に向けた取組みの実施

平成26年度は、以下に示す4つの利用促進に関する取組みを実施します。

- 施策①：夏休み小学生50円バスの実施（平成26年7月19日～8月31日の夏休み期間中）
- 施策②：共通1日フリー乗車券イベントの実施（平成26年10月1日～11月30日の2ヶ月間）
- 施策③：豊鉄バス乗車体験イベント[夏休み路線バス探検キャラバン]の実施（平成26年8月9日）
- 施策④：国府駅、豊川体育館前の待合空間改善のためのベンチ設置

##### (2) バス利用実態調査 (OD調査) の実施

路線見直し検討への活用と、利用促進イベントの効果を把握するため、上記の「施策②：共通1日フリー乗車券イベント」の実施期間中にOD調査を実施します。

昨年度実施したOD調査結果と比較して、利用促進イベントの効果を分析します。

- ①調査内容：バス利用者の乗車バス停と降車バス停を把握するとともに、乗継路線や乗継方面を把握します。
- ②調査対象：豊川市コミュニティバス全線（基幹路線：6路線、地域路線：4路線）  
豊鉄バス新豊線・豊川線（豊川市内）
- ③調査期間：豊川市コミュニティバス：5日間  
豊鉄バス新豊線・豊川線：1日（平日）
- ④調査方法：豊川市コミュニティバス及び豊鉄バス新豊線・豊川線の調査日の全便に調査員が乗車し、OD調査カードを配布。路線によっては運転手に配布を依頼して実施。

##### (3) 路線見直しの検討

昨年度実施したコミュニティバス路線の評価を踏まえながら、各路線の課題を検証し、路線ネットワーク全体の改善の方向性を整理し、中長期的な運行計画の見直しについて、検討を進めていきます。

1) 路線の評価やアンケート調査結果を活用して、連携計画の目標達成に向けて、解決すべきと考えられる点を課題として整理（第22回会議）

2) 課題の整理を踏まえて、課題の解決・緩和を実現するための問題点を認識しながら、連携計画の目標達成及び利便性の向上のための対応策やスケジュールなどを、改善の方向性として整理（第23～24回会議）

改善の方向性を踏まえた具体的な検討は、次年度に実施を予定

## 4. 【協議事項（1）】生活交通ネットワーク計画

### 4-1. 平成27年度事業分について

#### 1. 生活交通ネットワーク計画に記載が必要となる事項

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者
4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
5. 別表4の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認められた系統の概要※1
6. 別表4の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧※1
7. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要
8. 車両の取得に係る目的・必要性※2
9. 車両の取得に係る定量的な目標・効果※2
10. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額※2
11. 協議会の開催状況と主な議論
12. 利用者等の意見の反映
13. 協議会メンバーの構成員

※1：陸上交通の「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用するため、記載の対象外

※2：補助対象期間内での車両の新規購入がないため、記載の対象外

#### 2. 生活交通ネットワーク計画の内容

##### 2-1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

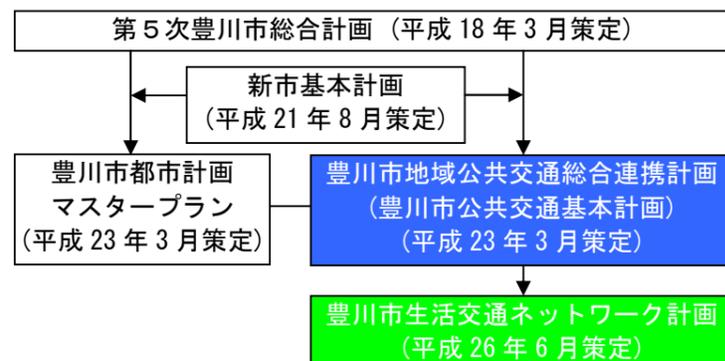
###### (1) 背景と目的

豊川市の市民の移動ニーズは主に市の中心部にありますが、バス路線は合併前の行政単位で運行し、市内の移動の足としての役割を十分果たしていない状況にあったため、市域を一体化するためにバス路線を再編しました。

###### (2) 必要性

豊川市では、平成23年3月に、市域全体の公共交通の基本的なあり方を定める「豊川市地域公共交通総合連携計画（豊川市公共交通基本計画）」を策定し、この計画に基づいて新設バス路線による運行を平成23年11月1日から運行を開始しています。

これら生活交通の確保を総合的な施策により確実に実行し、かつ継続していくため、地域公共交通確保維持改善事業に取り組むことが必要です。



##### 2-2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

###### (1) 事業の目標

「豊川市地域公共交通総合連携計画（豊川市公共交通基本計画）」で掲げた将来像、基本方針、目標の実現に向けて取り組みます。

将来像	市域全体を一体化し、みんなで支える公共交通ネットワークづくり
基本方針	(1) 市域全体の一体性を高める路線と地域に合った路線を、それぞれの役割に応じたサービスで導入 (2) 公共交通の利便性を高め、移動制約者が移動しやすい交通体系 (3) 行政、交通事業者、市民・地域・利用者が、それぞれの役割により協働で公共交通を支える仕組みづくり (4) 定期的な公共交通の評価の実施、継続的な路線の見直し・改善

###### 基本目標

- (1) 鉄道や民間バス路線と連携し、各路線の役割分担を明確にして公共交通ネットワークをつくれます
- (2) 人口や施設の分布状況により、市域をいくつかのエリアに分けて路線をつくれます
- (3) 市民の移動ニーズやまちの活性化など、目的に合った路線とします
- (4) 地域特性や需要に応じた交通システムを採用します
- (5) 利用しやすい料金体系にします
- (6) 地域で必要な路線の運行確保は、地域主体とします
- (7) 公共交通利用促進に繋がる様々な取り組みを行います

	目 標	現状 (基準年)	数 値 目 標
目標1	市内を運行するバス路線 <sup>*</sup> の利用者数の増加	49,807人/年 (H21実績)	11万人/年
目標2	公共交通の利便性の市民満足度の向上	42.9% (H21実績)	50%
目標3	地域主体で検討したバス路線の運行実施地域数の増加	0地域 (H21実績)	5地域
目標4	市内を運行するバス路線の収支率の向上	14.8% (H21実績)	15%

※「市内を運行するバス路線」については、市内と市外を結ぶバス路線は除きます。

中期の目標値に変更

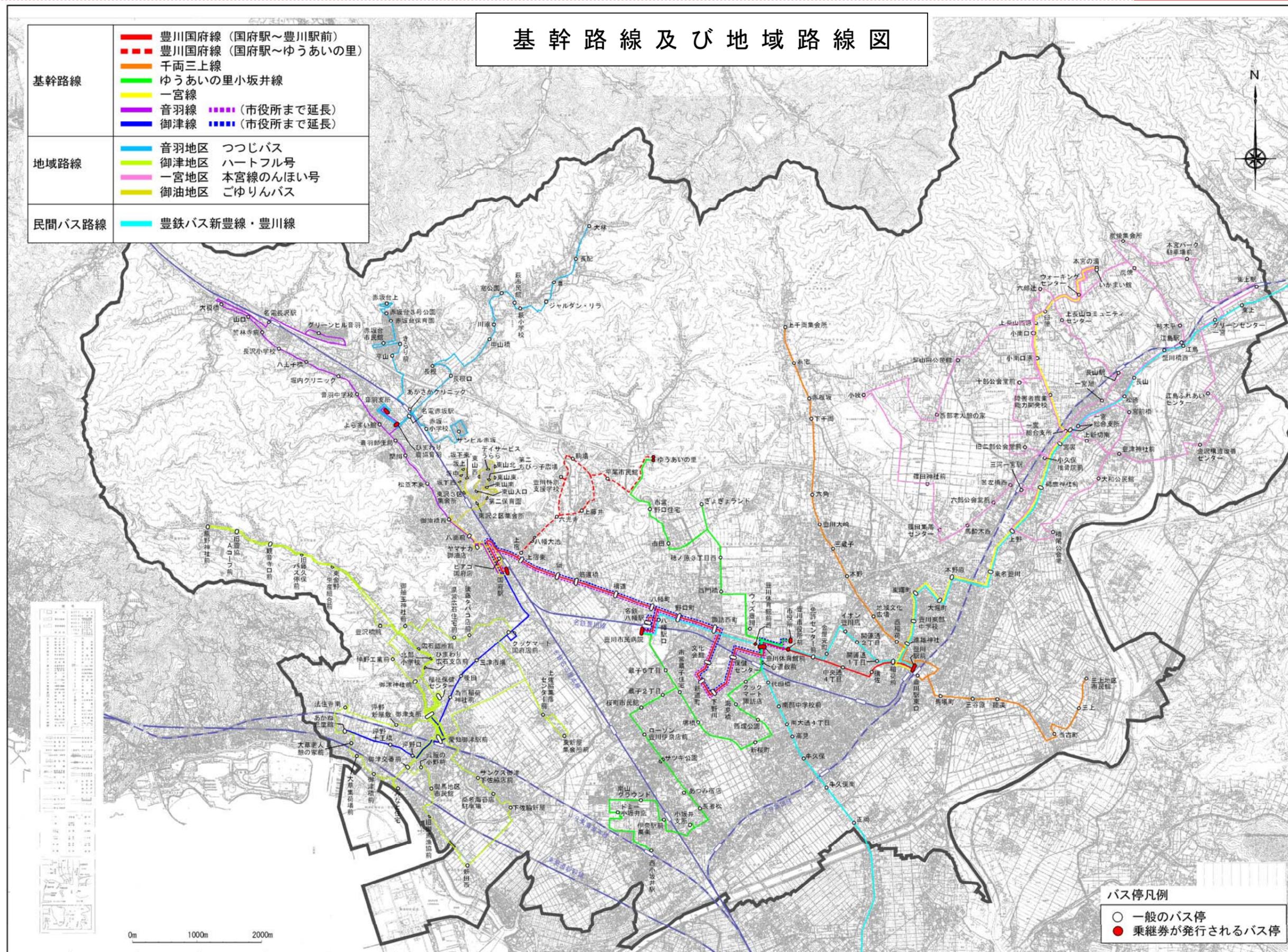
###### (2) 事業の効果

定量的な目標を達成することにより、次の効果が期待されます。

- ・豊川駅、国府駅、諏訪地区を交通結節点とする市域を一体化するネットワークの構成により、市の中心部へのアクセス利便性の向上
- ・公共交通の満足度の向上による公共交通の利用者数の増加
- ・地域主体で取り組む路線の増加による公共交通の利用意識の向上
- ・市の面積に占めるバス利用勢圏のカバー率の向上
- ・適切なサービス水準で、効率的な運行により持続性のある生活交通の確保

(1) 運行路線

平成26年5月1日の内容に変更



(2) 運行系統の概要

平成26年5月1日の  
内容に変更

区分	路線名	運行本数	運行日	使用車両	
基幹 路線	豊川国府線	12 便/日	毎日	小型バス1台	
	千両三上線	14 便/日	毎日	ジャンボタクシー1台	
	ゆうあいの里小坂井線	10 便/日	毎日	ジャンボタクシー1台	
	一宮線	8 便/日	毎日	中・大型バス1台	
	音羽線	国府駅止まり	5 便/日	毎日	ジャンボタクシー1台
		市役所直通	5 便/日	毎日	
	御津線	国府駅止まり	6 便/日	毎日	ジャンボタクシー1台
豊川市民病院直通		2 便/日	毎日		
市役所直通		8 便/日	毎日		
地域 路線	音羽地区つつじバス	7 便/日	毎日	ジャンボタクシー1台	
	御津地区 ハートフル 号	金野・北部小線	1 便/日	月～金曜日	ジャンボタクシー1台
		金野・豊沢線	6 便/日	月・水・金曜日	
		赤根・大草線			
		上佐脇・広石線 下佐脇・御馬線	6 便/日	火・木・土曜日	
	一宮地区 本宮線 のんほい号	東回り	3 便/日	火～土曜日	ジャンボタクシー1台
		中回り	4 便/日		
西回り	4 便/日				
御油地区ごゆりんバス	8 便/日	毎日	ジャンボタクシー1台		

※1：運休日について

- ・基幹路線の全線、地域路線の音羽・御津・御油地区は、年始の1/1～1/3を運休
- ・御津地区の金野・北部小線については、夏休み期間中の8/1～8/31を運休
- ・地域路線の一宮地区は、年末年始の12/29～1/3を運休

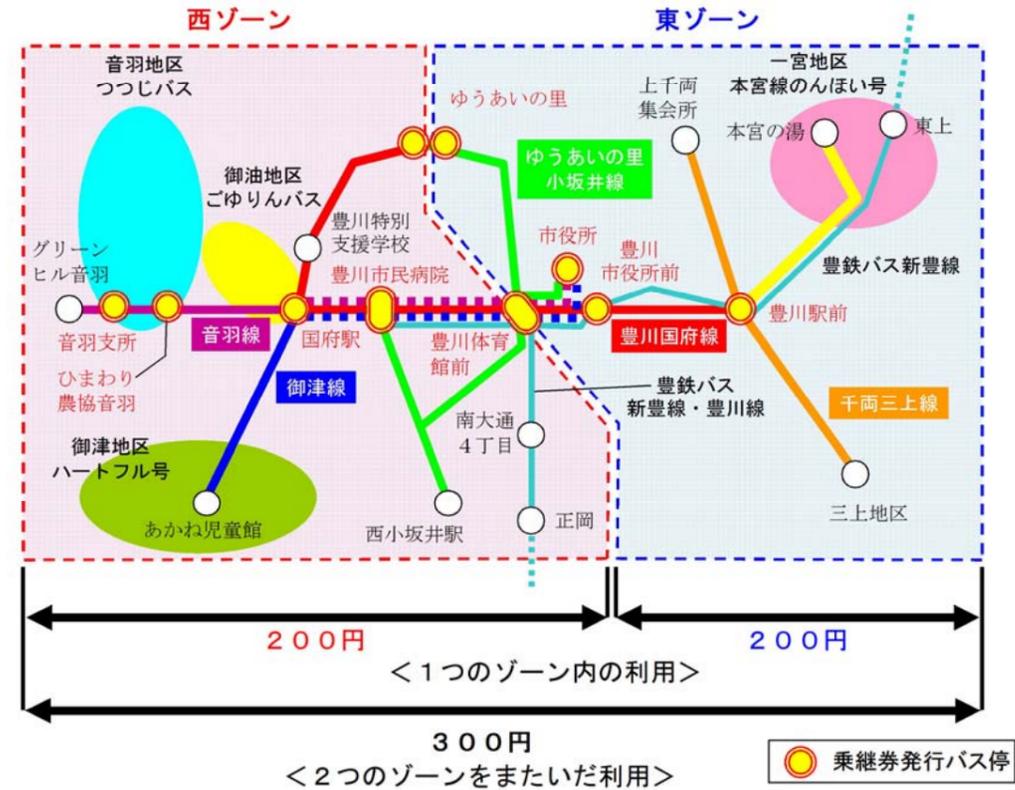
※2：迂回路での運行について

- ・年始の豊川稲荷参拝客による道路混雑を避けるため、豊川国府線、千両三上線、一宮線は、1/4以降の平日を含む日曜までと次週の土日祝日は迂回路で運行

(3) 料金

料金体系は、「豊川体育館前バス停」をゾーンの境界として2ゾーンに分割します。

- ・基幹路線：初乗り200円 ゾーンを跨ぐ場合100円加算
- ・音羽地区地域路線：初乗り200円
- ・御津地区地域路線：初乗り100円
- ・一宮地区地域路線：初乗り100円
- ・御油地区地域路線：初乗り200円



<各路線へのゾーン制の適用>

広域 路線	豊鉄バス新豊線 ・豊川線	・ゾーン制を適用（ただし、他の路線への乗継は、乗継先の初乗り料金を支払って乗車）
基幹 路線	一宮線を除く路線	・ゾーン制を適用
	一宮線	・ゾーン制を適用（ただし、他の路線への乗継は、乗継先の初乗り料金を支払って乗車）
地域 路線	音羽地区地域路線	・西ゾーン内の路線として扱い、ゾーン制を適用
	御津地区地域路線	・基幹路線の御津線への乗継は、乗継先の初乗り料金を支払って乗車
	一宮地区地域路線	・基幹路線の一宮線への乗継は、乗継先の初乗り料金を支払って乗車
	御油地区地域路線	・西ゾーン内の路線として扱い、ゾーン制を適用

<その他の料金設定>

- 未就学児：半額。ただし、同伴者1人につき1人まで無料
- 小学生：半額（※御津地区地域路線では、小学生は通常料金を適用）
- 身体障害者手帳及び療育手帳を所持している方と、その付添人1人：半額

#### (4) 地域公共交通確保維持改善事業の活用路線

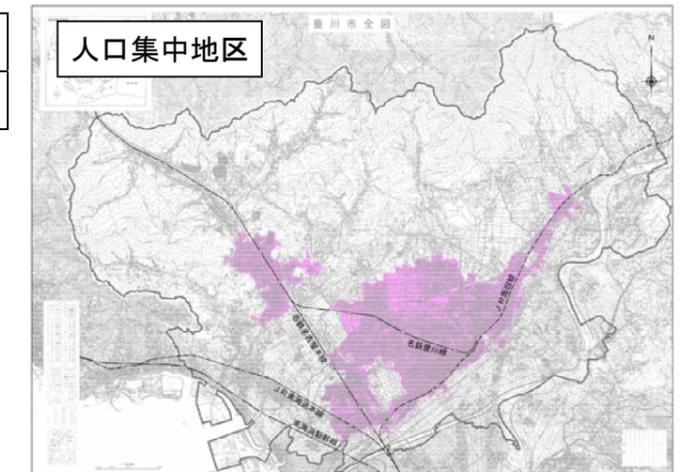
補助事業の基準への適合性を考慮して、陸上交通の「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金(以下、地域内フィーダー系統と略す。)」を活用することとし、基幹路線5路線、地域路線1路線を対象とする。

路線区分	補助対象系統	補助対象事業者
基幹路線	豊川国府線 (国府駅～豊川特別支援学校、国府駅～ゆうあいの里の運行系統は除く)	豊鉄バス株式会社
	千両三上線 ゆうあいの里小坂井線 音羽線(市役所直通系統のみ対象) 御津線(市役所・豊川市民病院直通系統のみ対象)	豊鉄タクシー株式会社
地域路線	一宮地区地域路線(東・中・西回りの3系統)	

#### 2-5. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	66,080



#### 2-4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

運行事業者名	運行系統名	確保維持事業に要する 国庫補助額(千円)			国庫補助上限額 (千円)
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度
豊鉄バス(株)	豊川国府線	7,871.0	7,893.0	7,871.0	5,129
豊鉄タクシー(株)	千両三上線	4,625.0	4,638.5	4,625.0	14,756
	ゆうあいの里 小坂井線	5,636.0	5,651.5	5,636.0	
	音羽線	3,326.5	3,335.5	3,326.5	
	御津線	4,805.0	4,818.5	4,805.0	
	一宮地区地域 路線東回り	1,243.5	1,248.0	1,248.0	
	一宮地区地域 路線西回り	1,538.5	1,544.5	1,544.5	
	一宮地区地域 路線中回り	1,470.0	1,476.0	1,476.0	
合計		30,515	30,605	30,532	19,885

平成27年度の補助額に変更

#### 2-6. 協議会の開催状況と主な議論

開催年度	会議回数・会議開催日
平成20年度	第1回平成21年 2月13日
平成21年度	第2回平成21年 5月1日 / 第3回平成22年 1月25日
	第4回平成22年 3月30日
平成22年度	第5回平成22年 7月20日 / 第6回平成22年10月26日
	第7回平成23年 1月18日 / 第8回平成23年 3月23日
平成23年度	第9回平成23年 5月24日 / 第10回平成23年 6月24日
	第11回平成23年10月31日 / 第12回平成24年 3月23日
平成24年度	第13回平成24年 6月19日 / 第14回平成24年 8月27日
	第15回平成25年 1月22日 / 第16回平成25年 3月25日
平成25年度	第17回平成25年 6月18日 / 第18回平成25年 8月26日
	第19回平成25年12月24日 / 第20回平成26年 3月27日
平成26年度	第21回平成26年 5月22日 / 第22回平成26年 8月11日

会議日程の追加

#### 2-7. 利用者等の意見の反映

これまでに、バス利用者アンケートを4回、住民アンケートを3回、市民病院来院者アンケートを2回、パブリックコメントを1回、住民説明会を5回行った。

平成25年度に実施した調査等の追加

#### 2-8. 協議会のメンバー構成

豊川市地域公共交通会議の委員として、主宰市3名、都道府県1名、交通事業者及び事業者団体4名、地域住民・利用者8名、地方運輸局1名、運転者が組織する団体1名、道路管理者3名、都道府県警察1名、学識経験者2名の、計24名で構成しています。

## 5. 【協議事項（2）】利用促進に関する取組み

### 5-1. 今年度の利用促進に関する取組み

平成26年度の利用促進に関する取組みを以下に示します。

実施月	取組み内容
平成26年7月19日（土） ～ 8月31日（日）	夏休み小学生50円バスの実施
平成26年8月9日（土）	夏休み路線バス探検キャラバンの実施
平成26年10月1日（水） ～ 11月30日（日） （2ヶ月間）	共通1日フリー乗車券の発売・実施

### 5-2. 夏休み小学生50円バス 実施内容（案）

豊川市と豊鉄バスでは平成26年の夏休み期間中、小学生運賃を一律50円とするキャンペーンを行う予定であり、期間中一部路線の運賃に変更があります。

対象路線や実施方法、乗継の停留所を以下に示します。

#### （1）対象路線：豊川市内のバス路線

##### ○ 豊鉄バス

豊川線、新豊線（2路線）

##### ○ 豊川市コミュニティバス

豊川国府線、一宮線（豊鉄バス）

千両三上線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線、音羽地域路線、御津地域路線、一宮地域路線、御油地域路線（豊鉄タクシー）〈10路線〉

※東三河地域（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村の自治体）において高速バスを除く全バス路線が対象となります。

#### （2）実施期間

○ 平成26年7月19日（土）～ 8月31日（日）夏休み期間中

#### （3）対象者

○ 小学生

#### （4）実施方法

○ 期間中、小学生運賃均一50円で統一します。

※大人1人に幼児2人の場合、幼児1人は無料となるが、2人以降は50円とします。

○ 期間中については、小学生はゾーンを超えて乗車しても50円とします。

※市内全て50円で乗車できるようにします。（25円設定は行わない。）

乗継ぐ場合、1乗車目のバス降車時に50円を支払い乗継ぎ券を受け取り、2乗車目以降の降車時は乗継ぎ券のみで利用可能とします。

#### （5）広報など

- ・7月15日号広報掲載
- ・ホームページ掲載
- ・東三河地区の全校小学生を対象にチラシ（A4両面）を配布
- ・バス車内、公共施設などでのポスターの掲示

#### （6）乗継バス停

乗継バス停名称を以下に示します。

	第一乗車（第二乗車）	第二乗車（第一乗車）
本宮の湯（いかまい館）	一宮線	一宮地区地域路線
一宮総合支所	一宮線・新豊線	一宮地区地域路線
豊川駅前	新豊線・豊川線・一宮線	千両三上線
	豊川国府線	千両三上線
	新豊線・豊川線・一宮線	豊川国府線
豊川市役所前（市役所）	新豊線・豊川線	御津線・音羽線
	新豊線・豊川線	豊川国府線
	新豊線・豊川線	ゆうあいの里小坂井線
	御津線・音羽線	ゆうあいの里小坂井線
	豊川国府線	ゆうあいの里小坂井線
豊川体育館前	新豊線・豊川線	御津線・音羽線
	新豊線・豊川線	豊川国府線
	新豊線・豊川線	ゆうあいの里小坂井線
	御津線・音羽線	ゆうあいの里小坂井線
	豊川国府線	ゆうあいの里小坂井線
豊川市民病院	新豊線・豊川線	ゆうあいの里小坂井線
	豊川国府線・音羽線・御津線	ゆうあいの里小坂井線
	新豊線・豊川線	豊川国府線・音羽線・御津線
国府駅	豊川国府線	御津線・音羽線、 御油地区地域路線
	音羽線	御津線・御油地区地域路線
	御津線	音羽線・御油地区地域路線
	御油地区地域路線	音羽線・御津線
ゆうあいの里	豊川国府線	ゆうあいの里小坂井線
ひまわり農協音羽	音羽線	音羽地区地域路線
音羽支所	音羽線	音羽地区地域路線
クックマート国府店前	御津線	御津地区地域路線
愛知御津駅	御津線	御津地区地域路線
御津支所	御津線	御津地区地域路線
あかね児童館（前）	御津線	御津地区地域路線

### 5-3. 共通1日フリー乗車券 実施内容(案)

豊川市コミュニティバス、豊鉄バス新豊線・豊川線の利用促進、新規利用拡大などを目的に、下記内容について検討しています。

(1) 券種名：「豊川市1Dayフリー乗車券」(仮称)

(2) 乗車適用区間：豊川市内のバス路線

- 豊鉄バス  
豊鉄バス(株)が運行する新豊線、豊川線の「正岡」～「東上」間(豊川市内限定)
- 豊川市コミュニティバス  
豊川国府線、一宮線(豊鉄バス)  
千両三上線、ゆうあいの里小坂井線、音羽線、御津線、音羽地域路線、御津地域路線、一宮地域路線、御油地域路線(豊鉄タクシー) <10路線>

(3) 実施期間

- 平成26年10月1日(水)～11月30日(日) 2ヶ月間

(4) 内容

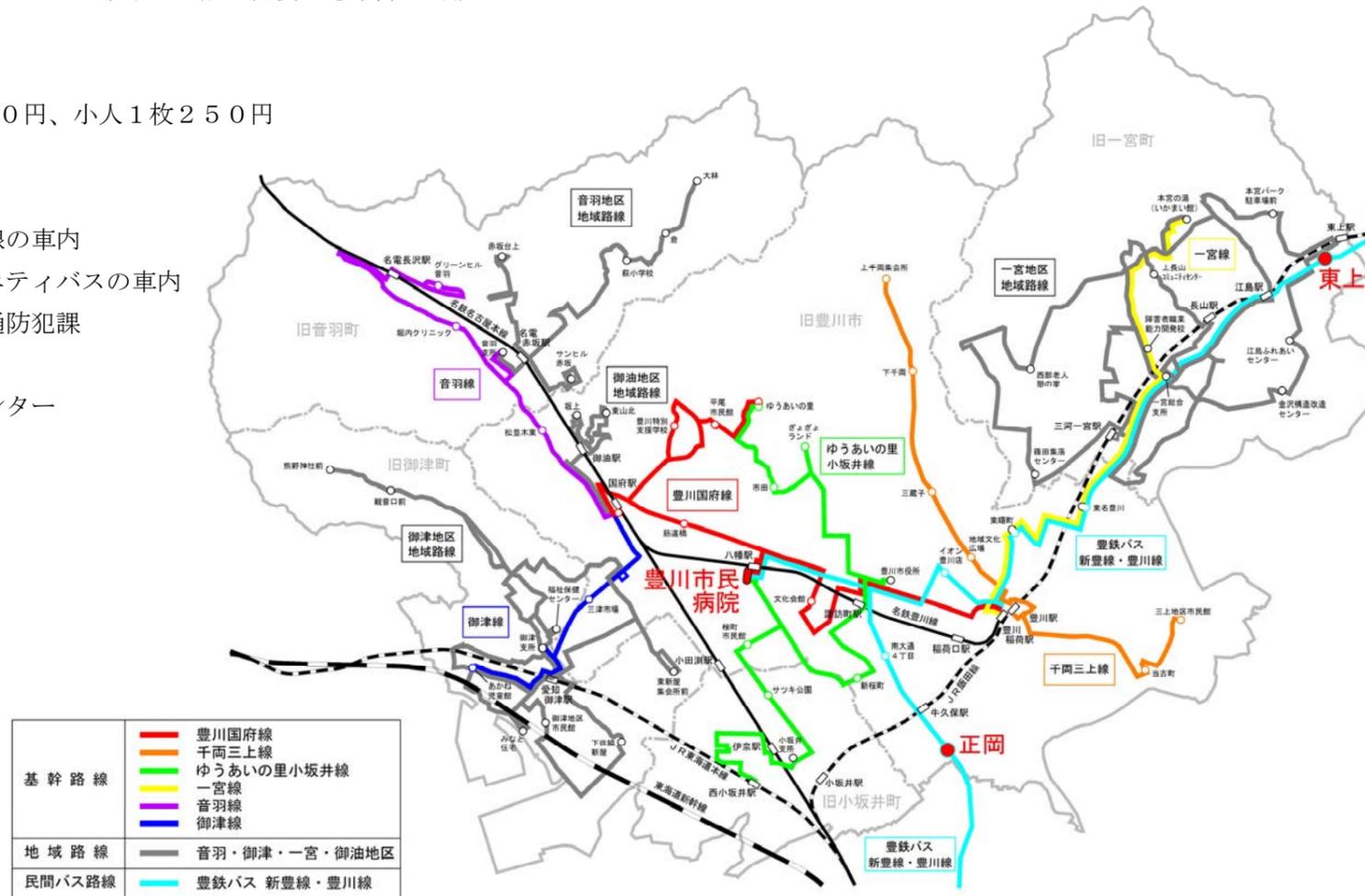
- 乗車適用区間について乗車1日限り何度でも乗降が可能

(5) 発売金額

- 大人1枚500円、小人1枚250円

(6) 発売箇所

- ・新豊線、豊川線の車内
- ・豊川市コミュニティバスの車内
- ・市役所入権交通防犯課
- ・豊川市各支所
- ・豊橋駅バスセンター



### 5-4. 夏休み路線バス探検キャラバン ～バスの秘密をさぐろう～ 実施内容(案)

子供たちのバスへの関心を深めることやバス利用の促進を目的に、バスと触れ合う機会を設ける体験イベントを検討しています。

- (1) 日時 平成26年8月9日(土) 10:00～12:30頃
- (2) 場所 豊鉄バス(株)植田車庫(豊橋市植田町字新津田6)
- (3) 集合・解散 豊川市役所
- (4) 対象 小学生以下と保護者  
(1組の申し込みは保護者を含む4人まで)
- (5) 内容 路線バスに乗ったままでの洗車機体験、路線バスとの綱引き、バス整備工場の見学など、普段では体験することのできない路線バスの秘密を探ります。
- (6) 定員 60人程度(応募多数の場合は抽選)
- (7) 参加料 無料
- (8) 申し込み方法 往復はがきで申し込み
- (9) 広報・周知 ホームページ、広報とよかわ7月1日号
- (10) 主催 豊川市地域公共交通会議



バス整備工場見学



バス綱引き大会

出典：豊鉄バス(株)ホームページ



## 5-6. 取組結果の報告：公共交通利用ガイドブックの作成

豊川市では、コミュニティバスを利用しやすくするため市内の各地区から市内の主な公共施設へのアクセス方法を示した「公共交通利用ガイドブック」を作成しています。

### (1) ガイドブックの概要

ガイドブックには、主要施設までの行き方に関して、運賃やバスの時刻、利用できるバスの路線名のほか、車両の色なども確認することができます。



公共交通利用ガイドブック表紙

公共交通利用ガイドブック内容

### (2) 作成エリア

ガイドブックの作成エリアと曜日（平日・土休日）を以下に示します。

作成エリア

	平日版	土休日版
豊川駅方面から	○	○
国府駅方面から	○	○
一宮地区方面から	○	○
音羽地区方面から	○	○
御津地区方面から	○	○
小坂井地区方面から	○	○

### (3) 豊川市役所ホームページからのアクセス方法

#### ① トップ画面



#### ② 暮らし・手続き画面



#### 画面の下へ移動



#### ③ 公共交通のお知らせ画面



#### ④ ガイドブック選択画面



お住いの地域や行きたい所、利用する日（平日・土休日）を選ぶ